

広げよう強いきずな 築こう強い組合 ~いのちを育てる協同の力~

ながぬま

2

2026

No.384



第32回 青年部・女性部通常総会開催

JA YOUTH 青年部情報ネットワーク 第32回 通常総会

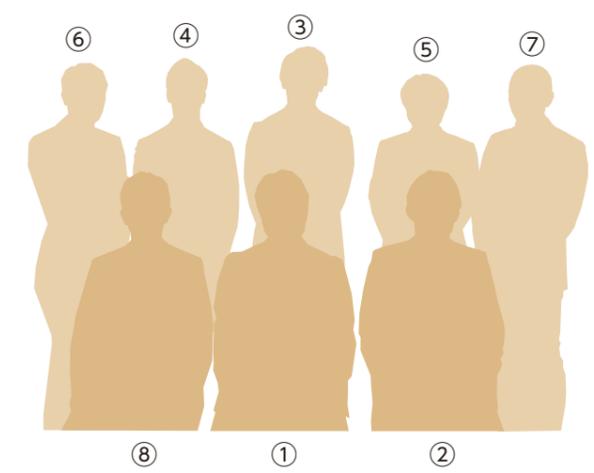
1月15日農協本所大会議室において、JAながめま青年部第32回通常総会を開催しました。総会では、令和7年度の事業報告・収支決算報告、令和8年度の事業計画・収支予算や役員改選などについて審議され、原案通りに承認されました。新部長には、30区 三上 拓真氏が選出されました。

JAながめま青年部通常総会



令和8年度の青年部役員は次の通りです。

部長	三上 拓真 (30区)	①
副部長	笠折 真 (28区)	②
理事	中原 博章 (4区)	③
理事	山田 悟 (28区)	④
理事	中村 健 (29区)	⑤
監事	美馬 健人 (18区)	⑥
参与	木村 将人 (16区)	⑦
JA空知青年部連合会	保井 優介 (21区)	⑧



就任挨拶



部長 三上 拓真

日頃より、我々青年部に対しまして皆様より特段なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、1月15日に開催いたしました第32回通常総会において、令和8年度役員及び事業収支予算についてご承認をいただき、晴れて新体制での出発となりました。私自身、リーダーシップを発揮して、全力で青年部活動に取り組んでいきたいと思

います。

春の雪解けは概ね平年通り進んだものの、その後雨天と低温が続いた為、圃場の乾燥が進まず一部で播種作業の遅れが見受けられました。8月には25日連続真夏日を記録するなど人には厳しい夏でしたが、作物全般は豊作傾向へと進んだものの一部作物では障害も多く見受けられ判断の難しい年であったように思えます。

また、米価格や水活の不透明感、依然続くロシアによるウクライナ侵攻、台湾有事など、我々生産者を巡る不安要素も解決しないままであり、今後の営農への影響も注視していかなければなりません。

昨年の青年部活動では、くるるの杜に加え札幌チカホでの小規模野菜直売、誉れ豆腐のくるる店頭販売に向けての交渉など、今後盟友数が減少していく問題に向き合っています。困難に対応出来る体制を模索してまいります。

また、改めて国産・地場産農畜産物の重要性を認識するとともに、食と農の結びつきを考え、食農教育やサポーターづくりを強化してまいります。さらに、我々ながめま農協青年部が長沼町の農業を、食を、魅

力を発信する先頭に立つ組織として成長していくようあらゆる手段を講じて挑戦してまいります。

- ① 盟友相互の親睦を深めるとともに変わりに行く農業情勢を把握し、地域の担い手として積極的に組織活動を実践する。
- ② 全盟友の力を結集し、地域の活性化に努める。
- ③ 青年部活動を通じて消費者や各関係団体との情報交換に努め、食と農を守るために互いの意識向上を目指す。

これらの目標を達成するため、盟友並びに各関係機関の皆様に対しまして、ご協力・ご支援を賜りますことと、本年度が多き豊穡の秋を迎えられますことを祈念いたします。就任の挨拶とさせていただきます。



レドイーグルス北海道 第93回 全日本アイスホッケー選手権大会優勝



10月号でご報告しました本年オフィシャルパートナー契約を結んだレドイーグルス北海道が、この度12月に開催された「第93回全日本アイスホッケー選手権大会」にて7年振りとなる優勝を果たしました。

現在6チームからなるアジアリーグの開催期間中であり、次はリーグ優勝を達成して今季完全制覇を期待します。

また、シーズンオフとなる6月にはチームの協力を賜りJAながめまのPRを盛り込んだファンイベントを開催する予定です。



女性部情報ネットワーク 第32回 通常総会 開催

1月16日に農協本所大会議室において、JAながめま女性部の第32回通常総会が開催されました。

総会は井形部長の開会挨拶に始まり、柴田組合長、齋藤町長よりご祝辞を賜った後、令和7年度事業報告・収支決算・令和8年度事業計画・収支予算や役員・理事改選などの議案について審議され、原案通り承認され、総会は無事に終了いたしました。また、新部長には9区川口文子さんが選任され「女性部員はフレミズの20代から個人加入の80代まで幅広い年代が加入しています。お互いに支え合い活動していけるよう本部役員として頑張りますので一緒に楽しみましょう。」とあいさつを述べられ新役員体制での令和8年度女性部事業が始まりました。



前列 左から	後列 左から
副部長 八木 かずみ	監事 佐々木 洋子
部長 川口 文子	顧問 間島 功子
副部長 松本 ますみ	監事 服部 友子

❖ フレミズしめ縄あみ講習会 ❖



12月16日16名参加でしめ縄あみ講習会を開催致しました。

今年で3年目になるしめ縄編み講師は部員の梶山さんに習いました。また今回の材料のスゲは8月に部員自ら刈り取り干したのを使用しました。経験がある部員は一人でも編めるようになりました。好みの飾りつけをして完成となりました。

特別金利 キャンペーン 実施中

取扱期間 令和8年2月2日(月)～令和8年5月29日(金)

住宅ローン

住宅の新築・中古住宅の購入や修理費用等

金利

3年固定 0.5%

当初
3年間

5年固定 1.2% → 0.9% 最優遇

10年固定 1.4% → 1.1% 最優遇

組合員加入+下記①②の両方該当で当初3年間0.3%引下げ

①JAバンクアプリプラス・JAネットバンクのどちらか登録

②新規給与振込・JAカード(一体型)の作成・公共料金自動引落の設定のいずれか該当

リフォームローン

住宅の増改築・改修補修や付帯施設用資金等

金利 変動金利 2.0% (基準金利) → 当初3年間 1.7% → 当初3年間 1.5% 最優遇

固定金利 2.6% (基準金利) → 当初3年間 2.3% → 当初3年間 2.1% 最優遇

組合員加入+下記①②の両方該当で当初3年間0.3%引下げ

①JAバンクアプリプラス・JAネットバンクのどちらか登録

②新規給与振込・JAカード(一体型)の作成・公共料金自動引落の設定のいずれか設定

※当JAの住宅ローンをご利用された住宅に限り、当初3年間更に0.2%引下げ

マイカーローン

自動車(新車・中古車)の購入や車検・修理費用等

金利 変動金利 2.55% → 2.0% 最優遇

固定金利(5年以内) 2.85% → 2.3% 最優遇

固定金利(10年以内) 3.25% → 2.7% 最優遇

組合員加入+右記①～④いずれか1つの該当で0.5%引下げ

①給与・年金振込

②JAカードローン

更に、過去マイカーローンをご利用いただいた方は0.05%引下げ

③JAカード(一体型)

④公共料金自動引落

【共通事項】

※当JAが指定する保証機関の保証が必要となり別途保証機関への保証料がかかります。

※上記キャンペーン金利は金利情勢の変化により変更させていただく場合があります。

※審査の結果、ローン利用のご希望に添えない場合もございますのでご了承ください。

令和6年産大豆精算について

令和6年産北海道産大豆の作付面積は、前年産を670ha上回る41,380haとなりました。

また、10a当たりの収量は、前年産比109%の306kg/10a、生産量は前年産に比べ11,900トン上回る126,700トンとなりました。

・入札販売

令和6年産の収穫後入札取引は12月から7月までの計8回実施され、大粒とよまさり39,000俵・小粒ユキシズカ3,000俵など合計48,000俵が落札されました。

落札総平均単価は、8,188円/60kgと前年産と比べ325円低くなりました。

・契約栽培

契約栽培取組数量は669,190.5俵となりました。入庫実績数量に対して45%の取組割合となりました。

・相対販売

落札残や端数ロット、その他銘柄、需要拡大先メーカー向けに650,000俵の販売推進を実施し、北海道産大豆の需要拡大を図りました。

・販売総括

北海道産大豆は、播種から成熟期にかけ比較的高温で推移しましたが、昨年産のような収穫期以降の高温や断続的な降雨とはならなかったことから、全道的に商品化率や品位は良好となり、収量も多い豊作年となりました。

全国的にも大豆作付面積が増加する中、供給量(前年産繰越数量+集荷数量)が積み上がったことや、輸送が改善された海外産大豆の在庫が国内で滞留していることなどから、収穫後入札取引では近年稀にみる入札率の低下を招きました。

一方で円安傾向の継続により海外産と国産の価格差は縮小しており、かつ将来にわたる国産大豆の安定供給を望む声にこたえるため、相対取引においては道産販売の既存取引分野の販売数量を維持しつつも、海外産が大宗を占める中付加価値帯の需要層を取り込むべく積極的な販売を行っております。その結果、北海道産大豆の入札・相対・契約栽培の販売総平均価格は7,381円(税込)/60kg(前年比▲1,045円)にて、9月末を以て全量販売完了しました。

令和6年産大豆精算内訳

単位:60kg/円(税込)

銘柄	品種	粒度	等級	品代	
とよまさり	トヨムスメ	大粒	2等	6,154	
			3等	5,911	
			合格	5,672	
		中粒	2等	5,897	
			3等	5,657	
			合格	5,418	
小粒	合格	4,783			
	とよまさり	ユキホマレ	大粒	2等	6,525
				3等	6,285
合格				6,045	
中粒			2等	6,271	
			3等	6,031	
			合格	5,791	
小粒	合格	5,156			
	とよまさり	とよみづき	大粒	2等	6,136
				3等	5,896
合格				5,656	
中粒			2等	5,883	
			3等	5,643	
			合格	5,403	
小粒	合格	4,768			
	とよまさり	とよまどか	大粒	2等	5,968
				3等	5,728
合格				5,488	
中粒			2等	5,714	
			3等	5,474	
			合格	5,234	
小粒	合格	4,599			
	スズマルR	スズマルR	小粒	2等	5,568
				3等	5,328
合格				5,088	
極小粒			2等	5,314	
			3等	5,074	
			合格	4,834	
ユキシズカ	ユキシズカ	小粒	2等	6,440	
			3等	6,200	
			合格	5,960	
		極小粒	2等	6,186	
			3等	5,884	
			合格	5,644	

※1円未満切捨て表記

万が一の事故にそなえて

申込期日は2月28日まで

労災保険に加入しましょう

農作業での死亡事故は北海道で15件前後、負傷事故は2,000件前後発生しています。万が一の事故にそなえて労災保険に加入しましょう。

労災保険は、本来、労働者の負傷、疾病、傷害、障害、死亡などに対して保険給付を行う制度ですが、労働者以外の方であっても、その業務の実情や災害の発生状況などからみて、特に労働者に準じて保護する必要があると認められる一定の方々に対して特別に任意加入を認めています。

	特定農作業従事者	指定農業機械作業従事者
加入条件	■年間の農業生産物総販売額300万円以上または経営耕地面積2ヘクタール以上の規模で、①土地の耕作、開墾②植物の栽培、採取③家畜の飼育の作業を行う自営農業者。(労働者以外の家族従事者を含みます)	■自営農業者(労働者以外の家族従事者を含みます)であって指定農業機械を使用し、土地の耕作、開墾または植物の栽培、採取を行う者。
作業限定	■農業者が、農作業場で行う耕作などの作業(「土地の耕作や開墾」、「植物の栽培や採取」、「家畜(家きんやみつばちを含む)や蚕の飼育作業」のうち、次のア～オのいずれかに当たる作業を行う場合(その作業に直接附帯する行為を含む) ア 農作業場で動力により駆動する機械を使用している作業 イ 農作業場の高さが2メートル以上の箇所で行う作業 ウ 農作業場の酸素欠乏危険場所(サイロ、むろ等)で行う作業 エ 農作業場において農薬を散布する作業 オ 農作業場において牛・馬・豚に接触し、または接触するおそれのある耕作等作業。 ※家畜は牛・馬・豚であり、羊・鶏は含みません。 ※鎌・包丁によるブロッコリー等の収穫作業中の負傷は補償の対象となりません。	■農業者が、ほ場またはほ道の作業場において指定農業機械を使用して行う作業及びこれに直接附帯する行為を行う場合。 (機械の種類) ①動力耕うん機その他の農業用トラクター ②動力溝掘機 ③自走式田植機 ④自走式スピードスプレアー その他の自走式防除用機械 ⑤自走式動力刈取機、コンバインその他の自走式収穫用機械 ⑥トラックその他の自走式運搬用機械 ⑦次の定置式機械または携帯式機械 ・動力揚水機 ・動力草刈機 ・動力カッター ・動力摘採機 ・動力脱穀機 ・動力剪定機 ・動力剪枝機 ・チェーンソー ・単軌条式運搬機 ・コンベヤー ⑧無人ヘリコプター(農薬、肥料、種子もしくは融雪剤の散布または調査に用いるものに限る) ■農業者が指定農業機械をほ場などの作業場と格納場所との間において、運転または運搬する作業(苗、防除用薬、堆肥などを共同育苗施設などからほ場などの作業場へ運搬する作業を含みます。)及びこれに直接附帯する行為を行う場合。
保険料等の額 (令和7年1月末現在)	■保険料等の額は給付基礎日額1,000円に対し、3,650円になります。(保険料額は事前の告知なく変更になる場合がございます。) ■給付基礎日額とは、労災保険の給付額を算出する基礎となるものです。特別加入を行う方の所得水準に見合った適正な額を申請していただき、所轄の労働基準監督署を経由して北海道労働局長が承認した額が給付基礎日額となります。(給付基礎日額は3,500円、4,000円、5,000円、6,000円、7,000円、8,000円、9,000円、10,000円、12,000円、14,000円、16,000円、18,000円、20,000円、22,000円、24,000円、25,000円のいずれかとなります)	■保険料等の額は給付基礎日額1,000円に対し、1,460円になります。(保険料額は事前の告知なく変更になる場合がございます。)

補償対象作業の範囲が広い「特定農作業従事者」への加入をおすすめします。

加入・脱退・日額変更の手続きは、農協取引印ご持参の上、2月28日までに本所営農企画課へお申込みください。

雇用労働者の労災保険加入手続きはお済みですか？

以下の農業経営形態の場合、雇用労働者(アルバイト・パート含む)の雇用労働者の労災保険加入手続きを行わなければなりません。

- 法人経営を行っている場合
- 個人経営で、5人以上の労働者を常時雇用している
- 個人経営で、労働者を雇用しており自らが農業労災に特別加入手続きをしている

事業主が故意または重大な過失により加入手続きを怠っていた期間中に事故が発生し、労災保険が給付された場合、事業主は遡って労働保険料と併せて追徴金が徴収されるほか、労災保険給付に要した費用の全部または一部を徴収することになります。

～詳しくは本所営農企画課へご相談ください～

万が一、農作業事故にあってしまったら…

万が一、労災の補償の対象となる範囲で農作業中に事故にあいケガをされた場合には、なるべく早く病院・薬局で受診し、労災保険で手続きする旨を申し出てください。(健康保険を使用しないように気をつけてください)

その上で、ご本人またはご家族の方が農協の営農企画課まで給付請求する旨の連絡をしてください。給付請求書がありますので必要事項を記載し、病院・薬局に提出していただくようになります。

(給付請求が遅れ、月をまたいだ場合や誤って健康保険を使用した場合、請求者の方の手続きが大変煩雑となりますのでご注意ください)



お問い合わせ：本所 営農部 営農企画課 TEL 88-2226

公益社団法人 日本PTA 全国協議会 推薦

JAグループの ちゃぐりん

食農教育をすすめる 子ども雑誌

イラストで構成する楽しい表紙

毎月、旬の野菜キャラクターが登場します！

JAグループの食農教育をすすめる 子ども雑誌

Child Agriculture Green

小島よしおの産地へGO/GO!
都市農業をのぞいてみよう
ミカンネコのSDGsな毎日

11 2025

農業、食べ物、健康、自然、いのちのたいせつさを伝え、思いやりと助け合いの精神を育む雑誌

定価 (税込) **600円** ※毎号統一価格

※2026年1月号、4月号、8月号には別冊付録が付きます。

JAグループ 家の光協会 〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町 11

TEL 03-3266-9039

<https://www.ienohikari.net/>

お申し込みはお近くのJAへ

理事会報告 - 第14回 -

《令和8年1月26日開催》

[議案]

- 議案第1号 信用供与等の決定について
- 議案第2号 共同計算の精算について
- 議案第3号 固定資産の発注について
- 議案第4号 固定資産の除却について
- 議案第5号 給与規程の一部改正について
- 議案第6号 組合員の出資持分譲渡について
- 議案第7号 再発防止策の策定について
- 議案第8号 令和7年度決算見込みについて(12月末現在)
- 議案第9号 決算手当の支給について
- 議案第10号 令和8年度役員報酬の諮問額について
- 議案第11号 長沼町農業委員会の委員候補者の推薦について

[報告事項]

1. 会議・行事報告について
2. 組合員の加入及び脱退の状況について
3. 利益相反取引の実行報告について
4. 理事の貸越極度額の実績について
5. 令和8年度クミカン利率について
6. 農地価格の推移及び令和8年度農地基準価格の設定について
7. 内部監査報告について
8. その他

以上、すべての議案について審議し原案どおり承認されました。

農協資格試験合格者

初級 管理部 管理課 総務係
室 谷 奈 海

退職職員

令和7年12月31日付
営農部 営農企画課長
松 本 渉

令和8年1月31日付
金融部 共済課長 兼 渉外課長
福 井 一 司

農協の動き 12/25~1/28

12月	25日	空知管内農協組合長会議	於	空知農業会館
	30日	職員退職辞令交付(12/31付)	於	農 協
1月	9日	長沼町新年交礼会	於	町 内
	13日	長沼町千歳川治水対策促進期成会役員会	於	役 場
	13~14日	農業経営基盤強化準備金受付	於	農 協
	15日	令和8年産米の生産に目安に係る地区代表者会議	於	農 協
	15日	JA青年部 第32回通常総会	於	農 協
	16日	JA女性部 第32回通常総会	於	農 協
	20日	空知管内農協組合長会議	於	空知農業会館
	20~23日	中央会内部監査(信用・共済)	於	農 協
	26日	監事会	於	農 協
	26日	総務経済対策委員会	於	農 協
	26日	子会社経営協議会	於	農 協
26日	理事会	於	農 協	
26~28日	令和8年度作付計画受付	於	農 協	

「売れる」ヒントをお届け!



購読料 1カ月 (税込み) 本紙 2,980円 電子版 2,403円

●購読のお申し込みはJAへ

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞
https://www.agrinews.co.jp
知る、活かす、つなぐ〜JAグループ情報共有運動

2026年2月号 No.384

ながぬま

JAながぬま 広報誌

〒069-1393
夕張郡長沼町銀座北1丁目5番19号
発行/ながぬま農業協同組合営農部営農企画課
TEL 0123-88-2226 FAX 0123-88-4113
URL http://www.ja-naganuma.or.jp

今月の組合員数

組合員 1,465名(-2)
正組合員 770名(+2)
准組合員 695名(-4)
正組合員戸数 584戸(-1)
※括弧内は前月比